

暴れん坊王女！

第三話

前回の暴れん坊王女三つの出来事！

1つ！アーディティア兵士とのやり取りで剣は地球人との意識の差を感じた。

2つ！ガリスディアの神／イデア・インスタンス・雷剛を撃退する。

そして3つ！一行はルミナス本部があるイズモへと向かった。

用語解説

エリア姫：ガリスディア帝国の皇女にして剣の婚約者。彼女がダイワに来訪した際にはともに野点や流鏑馬を楽しむなど関係は良好であった。しかし、ガリスディアが帝国に侵攻を開始して以降連絡は取れていない。

余談ではあるが、性別がともに女性であるにも関わらず婚約が成立しているのはガリスディア、ダイワともに同性婚が認められているためである(ダイワでは衆道と呼ばれている)。世継ぎについてはダイワでは魔力で陰陽を調整し同性でも子供を作る技術が確立されている。

神／イデア・インスタンス・雷剛：ガリスディアの将「クロト」の乗る機体。ミーレスではあるが、その再生能力はガーディアンをも凌駕する。本人の性格や機体の性能から妨害を得意とし、また再生能力を前提とした自爆攻撃を兼ね備えた強敵であった。

勲章：地球にて2体のガリスディア製奈落獣を倒したことにより、剣が自分の機体「ラストリゾート」につけたペイント。音戸家の家紋である金色の札を模している。魔術で動く剣の機体は感情により戦闘力が上がることが確認されており、実際に期待の出力は上がっている。とはいえ、ただのペイントで得られる効果としては明らかに異常な上昇量であり、何か他の要因があるのではといわれている。

暴れん坊王女！

第4話

前回の暴れん坊王女三つの出来事！

1つ！富士山のガリスディア拠点を破壊するために一行は落斜塔坡へと向かった。

2つ！修行をつんだシャルレが一行に立ちふさがるかろうじて撃破した。

そして3つ！シャルレの口から自身とエリア姫がトゥーレ出身であることが語られた。

用語解説

富士山：イズモで最大の標高を持つ霊峰。ガリスディアが奈落動力炉を設置し、長射程破壊兵器の砲台へと改造した。動力炉に衝撃を与えるたびに暴走した奈落エネルギーが攻撃したものを襲う。

ペンドラゴン：ガリスディアの将シャルレが搭乗するガーディアン。カバリエ級に分類される。ウィップをつかった白兵戦とマントをつかった防御術で剣たち一行を苦しめた。また、優れたスターゲイザーとしての力を持ち操縦能力も高い強敵。その太刀筋にはトゥーレの騎士道精神が組み込まれている。

エリア姫(追記)：ガリスディア皇帝の血を持つ皇女であるが、母は前トゥーレの女王であることがシャルレの口から明かされた。剣自身はそのことを知らなかったがエリア姫自身が自身の出自を知りながら隠していたのか、本人すらそのことを知らなかったのかについては現在不明である。

以下は暫定案。(こうすると辻褄合うんじゃないかね？くらいのもので、採用してもしなくてもGMの好きなようにしてください。)

とはいえ、エリア姫の出自を考えればガリスディアが関係良好だったダイワに対し不可解な戦争を仕掛けたこと理由は考えられる。地球侵攻に際して有用な取引材料となった皇女を宇宙の辺境であるダイワを併合するために使い潰すのは惜しいという判断があったのだろう。(エリア姫自身の判断かはともかくとしても)

そのためダイワとの縁談を解消しようとした際に何らかのトラブルがあり戦争へと発展、ダイワが減びるという結果につながったものと考えられる。